

「買うならエコ！」

地球温暖化や生物多様性の喪失など、深刻な地球環境問題について、メディア等で取り上げられることが多くなりました。私たち人間がこのままの状態では、100年後には地球上の平均気温が5度前後も上昇し、激しい異常気象を増加・増強させ、食糧生産や飲料水にも影響すると言われていています。また、生物多様性の減少は、生態系システムの崩壊を導き、人間にとっても住みにくい環境を生み出すと考えられます。

こうした地球環境問題に対応するためには、まず、私たち一人ひとりが「自分の問題」として受け止めることが大切です。

そこで、提案したいのが「グリーン購入」。誰にでも始めることのできる身近な環境保全活動です。「グリーン購入」とは、商品やサービスを購入する際にできるだけ環境に配慮したものを選ぶこと。つまり、「買うならエコ！」という取り組みです。

買わずにすませるエコも含め、買うならエコ。商品やサービスを買求めるときに、どっちを買うか迷ったら、どちらがエコなのか考えて選ぶようにしましょう。

みんなが「グリーン購入」するようになると、企業はさらに環境配慮に努め、より優れた機能の「エコ商品」開発に力を注ぐようになります。

私たちがグリーン購入することは、売り手や作り手の企業を動かし、市場を変え、社会全体を変えることにつながります。一人ひとりのグリーン購入は、世の中を変える大きな一歩なのです。

さあ、あなたも身近なところから、グリーン購入をはじめませんか？

- ・ **マイバックを持って行きましょう**
もらってもゴミになるレジ袋はことわりましょう。
- ・ **包装の無いもの、少ないものを選びましょう**
できるだけバラ売りの商品を選べば、ゴミを減らせます。
- ・ **メモを持参して、ムダなものは買わないようにしましょう**
「必要なものを必要なだけ」買うようにしましょう。
- ・ **使い捨て商品より、繰り返し使えるものを選びましょう**
たとえば、充電式の電池などは環境にやさしいと言えます。
- ・ **長く使えるものを選びましょう**
流行に左右されず、丈夫で長く使える商品を買うように心がけましょう。
- ・ **詰め替えできる商品を選びましょう**
シャンプーやリンス、洗剤などは、詰め替え式の商品を選ぶようにしましょう。
- ・ **「環境ラベル」を参考にして、商品を選びましょう**

「環境ラベルの一例」



エコマーク
ライフサイクル全体を考慮して環境に配慮した商品につけられます。



グリーンマーク
古紙を原料とした商品につけられます。



牛乳パック再利用マーク
使用済み牛乳パックを原料とした商品につけられます。



間伐材マーク
間伐材を用いた製品につけられます。